YUIA CYBER PROTECT

YUIA Cyber Protect

ユイア サイバープロテクト

人と企業を、安心で包む。

守る・管理する・元に戻す。
3つの商品がひとつの領域で、お客様の大切な情報資産を守ります。

製品ご案内　2026年9月版

CONTENTS

目次

本資料は YUIA Cyber Protect の3商品と価格をご案内するものです。

01	こんなお悩みはありませんか？	P. 4
02	YUIA Cyber Protect とは	P. 5
03	商品ラインアップ全体像	P. 6
04	3商品の統合価値	P. 7
05	YUIA Securia（守る）・オプション	P. 8 - 14
06	価格表｜Securia・EDR・XDR・MDR・AI保護・DLP	P. 15 - 16
07	YUIA Scope（管理する）	P. 17 - 19
08	価格表｜Scope	P. 20
09	YUIA Recovery（元に戻す）	P. 21 - 22
10	価格表｜Recovery・Microsoft 365	P. 23 - 24
11	ご利用イメージ（構成例）	P. 25
12	サポートと品質への取り組み	P. 26
13	SCS評価制度への対応一覧	P. 27
14	ご導入の流れ・お問い合わせ	P. 28

READING GUIDE

目的別 ご利用ガイド

知りたいことから、必要なページをご覧いただけます。
商品全体の構成は、前ページの目次でご確認ください。

対策を見直したい

YUIA Securia・オプション **P. 8–14**

生成AIの利用対策は P. 10、情報漏えい対策（DLP）は P. 11

管理を効率化したい

YUIA Scope **P. 17–19**

IT資産の把握や管理に関する機能・比較をご紹介

バックアップを整えたい

YUIA Recovery **P. 21–22**

主な機能と、容量・デバイスの各モデルをご紹介

価格を確認したい

商品別の価格表

Securia・オプション P. 15–16 ／ Scope P. 20
Recovery・Microsoft 365 P. 23–24

導入を相談したい

導入の流れ・相談用シート **P. 28–31**

確認シート P. 29・打ち合わせメモ P. 30・自由記入メモ P. 31 をご活用ください

お問い合わせ先は裏表紙（P. 32）に掲載しています。

ISSUES

こんなお悩みはありませんか？

サイバー攻撃の手口は年々巧妙になり、規模の大小を問わずすべての企業が対象となっています。いま抱えていらっしゃる課題をご確認ください。

ランサムウェアが不安

万一データを暗号化されたとき、どこまで戻せるのか。復旧の手順が決まっていない。

IT担当者がいない・兼任

総務や経理の担当者が片手間で対応しており、専門的な運用まで手が回らない。

どのパソコンに何が入っているか分からない

台帳が古く、更新プログラムの適用漏れや使われていない端末を把握できていない。

バックアップに自信がない

取得できているつもりでも、実際に戻せるか試したことがない。保管先も1か所のみ。

製品がバラバラで管理が煩雑

ウイルス対策・資産管理・バックアップが別製品で、画面も窓口も分かれている。

生成AIの利用が把握できない

業務で使われ始めているが、何が入力されているか分からず、ルールも定まっていない。

ひとつでも当てはまる場合は、YUIA Cyber Protect でまとめて解決できます。

守る（Securia）・管理する（Scope）・元に戻す（Recovery）を、ひとつの基盤・ひとつの窓口でご提供します。

BRAND

YUIA Cyber Protect とは

「結（人と人・企業を結ぶ）」と「Area（領域）」。人と企業を安心で包む領域を意味します。守られている実感を、すべての人と企業へ届けるブランドです。

守られている実感を、すべての人と企業へ。

YUIA ＝ 結 ＋ Area

ブランドが約束する３つの価値

安心

世界で採用される実績あるクラウド基盤の技術で、日々の業務を静かに守り続けます。

信頼

国際的なセキュリティ認証と第三者評価機関の高い評価が、品質の裏づけです。

一元化

守る・管理する・元に戻すを、ひとつの管理画面・ひとつのエージェントに束ねます。

管理サーバーは不要です

クラウド提供のため、お客様側でサーバーを構築・運用する必要はありません。エージェントを入れるだけで始められます。

1台からご利用いただけます

小さく始めて、拠点や台数の増加に合わせて無理なく広げられる料金体系です。

LINEUP

商品ラインアップ全体像

守る・管理する・元に戻す。3つの商品群が連携し、人と企業を切れ目なく守ります。必要な商品だけを選んでご利用いただけます。

守る

YUIA Securia

ユイア セキュリア｜ANTIVIRUS・EDR

AI搭載の次世代ANTIVIRUS／EDRで、ランサムウェアやゼロデイ攻撃からパソコン・サーバーを守ります。

管理する

YUIA Scope

ユイア スコープ｜IT資産管理

IT資産を自動で棚卸し・一元管理。パッチ適用と脆弱性対策を自動化し、管理の手間を減らします。

元に戻す

YUIA Recovery

ユイア リカバリー｜バックアップ

ローカル・クラウド両対応のバックアップ。万一の際も数分で業務を復旧できます。

3商品は単一のエージェント・単一の管理画面で連携します。導入後の運用負担を増やしません。

INTEGRATION

3商品の統合価値 — ひとつの領域で守る

Securia・Scope・Recovery は単一エージェントで連携し、NIST サイバーセキュリティフレームワークの全領域をカバー。検知から復旧までが途切れません。

1	特定	資産把握・脆弱性診断	Scope
2	防御	パッチ・ANTIVIRUS	Scope / Securia
3	検知	ふるまい検知・EDR	Securia
4	対応	自動ロールバック	Securia
5	復旧	バックアップ・DR	Recovery

ご導入の効果

90%

復旧時間を短縮

ベアメタル復旧なら数分で完了し事業継続性が向上

1エージェント

運用を一元化

バックアップ・セキュリティ・資産管理をひとつに統合

自動化

ランサムウェア対策

暗号化の検知から自動ロールバックまでを自動実行

※ 効果は一般的な構成における参考値です。実際の効果はご利用環境により異なります。

PRODUCT 01 | SECURIA

YUIA Securia（セキュリア）— 守る

AIベースの次世代ANTIVIRUSとEDRを核に、ランサムウェアやゼロデイ攻撃からパソコン・サーバーを守ります。検知から対応・復旧までを単一のエージェントで完結します。

未知の脅威まで捉える多層防御エンジン

シグネチャに頼らず、機械学習とふるまい検知で新種の脅威も実行前に食い止めます。

ランサムウェアの自動検知・自動ロールバック

暗号化を検知した瞬間にファイルを自動で元に戻し、業務の停止を防ぎます。

AI主導のEDRで迅速な調査と対応

何が起きたのかを自動で分析し、担当者の判断と対応を強力に支援します。

情報漏えい対策・脆弱性診断まで標準搭載

デバイス／ポート制御と脆弱性スキャンを追加費用なしでご利用いただけます。

※ XDR・MDR はユーザー毎のご契約となります。

SECURIA | FEATURES

YUIA Securia ― 主な機能

エンドポイントの防御から調査・対応、情報漏えい対策までを1つのエージェントで提供します。

多層防御エンジン

シグネチャ・機械学習による静的分析・ふるまい検知を組み合わせ、未知の脅威も実行前に識別します。

ランサムウェア対策

暗号化を検知した瞬間にファイルを自動ロールバックし、被害前の状態へ即時復旧します。

EDR（検知と対応）

AI主導で数分以内に分析・対応。MITRE ATT&CK マッピングで攻撃の流れを可視化します。

脆弱性診断

OS・アプリの脆弱性を自動でスキャンし、優先度をつけてレポートします。

デバイス／ポート制御

USBメモリなどを経由した情報漏えいを、きめ細かなポリシーで防止します。

フォレンジック取得

万一の際の調査に活用できるデジタル痕跡を、標準でバックアップします。

さらに広く守るオプション

XDR（拡張検知・対応）

サーバー・ネットワーク・クラウドまで横断的に相関分析し、EDR単体では見えない攻撃の全体像を可視化します。

MDR（監視・対応の代行）

専門アナリストが24時間365日で監視し、検知から調査・対応までを代行。IT担当者が不在・兼任でも運用できます。

※ XDR・MDR はユーザー毎のご契約となります。

OPTION | GENAI PROTECTION

YUIA GenAI Protection（AI保護）

生成AIの業務利用が広がるなかで、「誰が何を入力しているか分からない」不安に応えるオプションです。利用実態を可視化し、機密情報の流出を未然に防ぎます。

生成AI利用の可視化

誰がどのAIサービスをどの程度使っているかを可視化し、利用実態を把握できます。

シャドーAI検知

未承認の生成AIサービスへのアクセスを検知し、リスクを早期に把握します。

利用ポリシー制御

部署・ユーザー単位で許可／禁止を設定し、安全な利用のみを許可します。

機密情報の漏えい防止

個人情報・機密文書などの入力を検知し、送信をブロックします。

利用ログ・監査

入力と応答の履歴を記録し、監査や内部統制にご活用いただけます。

単一コンソールで運用

Securia と同じ管理画面で運用でき、新たな運用負荷を増やしません。

生成AIを「禁止する」のではなく、「安全に使う」ために。

利用状況を把握したうえでルールを定め、業務効率と情報保護を両立します。

※ 本製品はオプション提供となります。価格は16ページをご覧ください。

OPTION | DATA LOSS PREVENTION

YUIA DLP（情報漏えい対策）

個人情報や機密文書の内容を識別し、不正な持ち出しや送信を防止します。USB・メール・クラウド共有など、幅広い経路からの情報漏えいを抑えます。

機密データを内容で識別

個人情報・医療情報・決済カード情報や「社外秘」文書を識別し、不正な転送を防ぎます。

70以上のチャネルを制御

USB・印刷・メール・Web・クラウドファイル共有など、端末とネットワークのデータ転送を制御します。

画像内の文字も検査

端末上のOCRで画像内の機密情報を検出。文書や入れ子の圧縮ファイルも検査します。

業務に合うポリシーを作成

観察モードでデータの流れを学習し、規則を自動作成。業務担当者の確認後に適用します。

ログ・アラートを集中管理

ポリシー単位で監査ログとリアルタイム通知を設定し、漏えいリスクの把握や調査を支援します。

単一コンソールで運用

バックアップや端末保護と同じコンソールでDLPを管理し、運用負担を軽減します。

業務に必要なデータの流れを保ちながら、漏えいを防止

機密情報の識別と転送経路の制御で、安全な情報活用を支えます。

※ 本製品はオプション提供となります。

SECURIA | COMPARISON

EDR・XDR・MDR の違い

違いは「監視する範囲」と「運用を誰が担うか」の2点です。お客様のIT体制に合わせてお選びいただけます。

比較項目	EDR	XDR	MDR
監視範囲	パソコン・サーバー	左記＋ネットワーク・クラウド・メール	XDRの範囲を24時間365日
検知の仕組み	端末の挙動をふるまい検知	各層のログを横断相関分析	相関分析＋アナリストの判断
万一の際の対応	貴社管理者が調査・隔離	攻撃の全体像を把握して対応	専門アナリストが調査・対応を代行
運用の主体	お客様（自社運用）	お客様（自社運用）	当社側（SOCが代行）
必要な体制	セキュリティ担当者が必要	ログを読み解ける人材が必要	担当者不在でも運用可能
おすすめの企業	IT担当者がいる企業	複数環境をお持ちの企業	IT担当が不在・兼任の企業

守る範囲の広がり（EPP → EDR → XDR）

EPP

従来型ANTIVIRUS

既知のマルウェアを端末で検知・ブロック。侵入前の防御が守備範囲です。

EDR

端末の検知と対応

端末の挙動を常時記録し、侵入後の不審な動きを調査・封じ込めます。

XDR

領域を越えた統合分析

端末に加えメール・クラウド・ネットワークを統合し、攻撃の全体像を把握します。

MDR（運用レイヤー）　上記いずれの段階にも重なり、監視・分析・対応の運用を専門家チームが24時間代行します。

SECURIA | COMPARISON

他社エンドポイント製品との比較

検知だけでなく、復旧・資産管理まで単一の基盤で完結することが YUIA Securia の特長です。

比較軸	YUIA Securia	A社 統合管理型製品
感染時の自動復旧	標準搭載。暗号化を検知し自動ロールバック	非対応。修復機能にとどまる
XDR・多要素認証	XDRはオプションで追加可能、MFAは標準提供	上位版限定または別ライセンスが必要
資産管理・レポート	端末情報の取得とレポートを標準提供	対応なし。別製品の併用が必要
最低発注数	1ライセンスから導入可能	6〜26ライセンス（エディションにより変動）

アンチマルウェア機能の実装状況

比較項目	YUIA Securia	B社 エンドポイント製品	C社 エンドポイント製品
マルウェア防御率	99.8%	99.7%	99.8%
業務ソフトの誤検知	0	0	0
感染後の自動ファイル修復	○	×	×
バックアップのマルウェア対策スキャン	○	×	×
セーフリカバリー	○	×	×
脆弱性診断	○	×（アドオン）	×
パッチ管理	○	×（アドオン）	×
EDR・リアルタイム保護・ゼロデイ防御	○	○	○

※ AV-Comparatives「Malware Protection Test Enterprise」の性能値および当社調べ。各社のテスト実施時期は異なります。対象構成は Advanced Security ＋ EDR です。A社製品については各エディションの公開情報（2026年8月時点）に基づく参考比較です。

SECURIA | THIRD-PARTY TEST

第三者評価機関による検知性能

AV-TEST（2025年2月／Windows 10 ビジネス向け）の検知性能テスト結果です。YUIA Securia は全項目で満点を獲得しています。

A社 統合管理型製品との比較

評価項目	YUIA Securia	A社 統合管理型製品
リアルワールドテスト（1月）	100%	99.5%
リアルワールドテスト（2月）	100%	100%
AV-TEST リファレンスセット（1月）	100%	100%
AV-TEST リファレンスセット（2月）	100%	100%
総合評価	満点（全項目100%）	リアルワールドで僅差

D社 エンドポイント製品との比較

評価項目	YUIA Securia	D社 エンドポイント製品
リアルワールドテスト（1月）	100%	99.3%
リアルワールドテスト（2月）	100%	100%
AV-TEST リファレンスセット（1月）	100%	99.8%
AV-TEST リファレンスセット（2月）	100%	99.9%
業界平均との比較	業界平均を上回る	業界平均並み

※ 出典：AV-TEST（av-test.org）。A社製品との比較はいずれも2025年2月実施の同一条件テストの結果です。D社製品は2024年4月のテスト結果のため実施時期が異なります。対象構成は Advanced Security + EDR 相当です。

PRICE LIST

価格表｜YUIA Securia・EDR・XDR・MDR

価格（1ユーザーあたり・税別）です。XDR・MDR はユーザー毎のご契約となります。

YUIA Securia

ユーザー規模	新規・追加	年間更新 年額	乗り換え年額
1ユーザー	Securia-01（月額 370円） Securia-05（年額 4,440円）	SecuriaR-01 4,200円	Securia-10 3,600円

YUIA Securia EDR

ユーザー規模	新規・追加	年間更新 年額	乗り換え年額
1ユーザー	SecuriaED-01（月額 420円） SecuriaED-05（年額 5,040円）	SecuriaEDR-01 4,800円	SecuriaED-10 3,960円

YUIA Securia XDR

ユーザー規模	新規・追加	年間更新 年額	乗り換え年額
1ユーザー	SecuriaXD-01（月額 600円） SecuriaXD-05（年額 7,200円）	SecuriaXDR-01 6,840円	SecuriaXD-10 6,000円

YUIA Securia MDR（24時間365日の監視・対応代行を含む）

ユーザー規模	新規・追加	年間更新 年額
1ユーザー	SecuriaMD-01（月額 1,000円） SecuriaMD-05（年額 12,000円）	SecuriaMDR-01 11,640円

・標準価格はオープン価格です。表中の金額はすべて税別、1ユーザーあたりの価格です。
・契約本数により契約単価が変動します。
・年額は月額×12ヶ月分です。「新規・追加」は月額プラン・年間プランのいずれかをお選びいただけます。
・XDR・MDR はユーザー毎のご契約となります。実際のお見積りは、ご契約条件・数量により異なります。詳しくは担当までお問い合わせください。

PRICE LIST

価格表｜GenAI Protection・DLP

生成AI保護と情報漏えい対策のオプション価格です。価格（1ユーザーあたり・税別）をご案内します。

YUIA GenAI Protection

ユーザー規模	型番	月額プラン	型番	年間プラン
1ユーザー	SecuriaGA-01	350円	SecuriaGA-05	4,200円

YUIA DLP（データ損失防止）

ユーザー規模	型番	月額プラン	型番	年間プラン
1ユーザー	SecuriaDLP-01	800円	SecuriaDLP-05	9,600円

・標準価格はオープン価格です。表中の金額はすべて税別、1ユーザーあたりの価格です。
・契約本数により契約単価が変動します。
・実際のお見積りは、ご契約条件・数量により異なります。

こんな課題をお持ちの企業様へ

社内の生成AI利用が把握できていない

どの部署が何のサービスを使っているかを一覧で可視化します。

機密情報の入力が心配

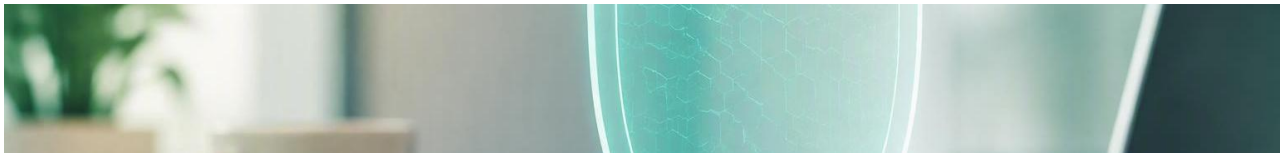
個人情報・機密文書の入力を検知し、送信前にブロックします。

ルールはあるが守られているか不安

ポリシー違反の操作をログに記録し、実態にもとづく運用改善につなげます。

新たな管理負担は増やせない

Securia と同じ管理画面で運用でき、担当者の負担を増やしません。



PRODUCT 02 | SCOPE

YUIA Scope（スコープ）— 管理する

組織内のハードウェア・ソフトウェア情報を自動で棚卸しし、IT資産を一元管理。リモート運用とパッチ自動適用で、IT運用管理の手間を大幅に削減します。

ハードウェア／ソフトウェアの自動インベントリ

台帳づくりの手作業をなくし、資産情報を常に最新の状態に保ちます。

パッチ自動適用で脆弱性の温床を解消

更新の適用漏れを防ぎ、既知の弱点を計画的につぶしていきます。

一元コンソールで全端末を可視化

拠点や在宅勤務のパソコンも含め、状態をひと目で把握できます。

リモート運用でトラブルに即対応

離れた場所の端末にも接続し、その場で支援・復旧が行えます。

SCOPE | FEATURES

YUIA Scope — 主な機能

資産の把握から脆弱性対応・リモート運用までを、クラウドの管理画面ひとつで行えます。

資産インベントリ

パソコン・サーバーのハード／ソフト情報を自動収集し、資産台帳を常に最新に維持します。

パッチ自動適用

OS・アプリのパッチ適用を自動化し、既知の脆弱性を計画的に解消します。

脆弱性評価

#CyberFit スコアでセキュリティの状態を可視化し、対応の優先度を明確にします。

リモート運用

リモートデスクトップ／アシスタンスで、離れた端末のトラブルも即時に解決します。

監視・レポート

標準の監視とレポートで、全端末の状態を継続的に把握できます。

ライセンス管理

ソフトウェアライセンスの管理や、資産のリプレース計画にも活用いただけます。

クラウド提供のため、サーバーの構築は不要です。

導入時のハードウェア投資が不要で、専任のIT担当者がいない企業様でも運用いただけます。

SCOPE | COMPARISON

資産管理製品との比較

Scope の強みは「脆弱性対応の自動化」と「セキュリティ製品との一体運用」です。用途に応じた棲み分けもご案内します。

比較軸	YUIA Scope	SKYSEA Client View	ISM CloudOne
提供形態	クラウド提供（構築不要）	オンプレ中心（サーバー費用が別途）	クラウド提供
脆弱性管理	スキャン〜優先順位付けまで標準	対応は限定的	資産・OS情報の把握が中心
運用自動化	AI支援の自動パッチ・自動修復	手動運用が中心	配信機能はあるが個別設計
セキュリティ連携	EDR/XDR・バックアップと一体	別製品との連携が必要	別製品の追加が必要
操作ログ・申請承認	基本的な管理機能を提供	監査用途に強い	ログ管理に対応
向いている用途	守りまで含めた運用の集約	内部統制・ログ監査	社外パソコンの資産把握

YUIA Scope をお選びいただく理由

守りまで一体

資産管理に加え、EDR/XDR やバックアップと同じ基盤で連携します。

少人数でも運用可能

自動化により、専任担当がいなくても無理なく運用できます。

脆弱性対応まで自動化

スキャンから優先順位付け・自動修復までを標準で担います。

用途に応じた棲み分け

操作ログ監査や申請承認が主目的の場合は、他製品との併用もご提案します。

※ 2026年8月時点の各製品公開情報に基づく参考比較です。最新の仕様は各製品提供元へご確認ください。

PRICE LIST

価格表｜YUIA Scope

価格（1ユーザーあたり・税別）です。月額・年間プランからお選びいただけます。

YUIA Scope

ユーザー規模	型番	月額	年額
1ユーザー	Scope-01	580円	6,960円

・標準価格はオープン価格です。表中の金額はすべて税別、1ユーザーあたりの価格です。
・契約本数により契約単価が変動します。
・年額は月額×12ヶ月分です。
・実際のお見積りは、ご契約条件・数量により異なります。

Securia との組み合わせがおすすめです

弱点を見つけて塞ぐ

Scope が脆弱性を洗い出し、パッチ適用まで自動化。攻撃の入口を減らします。

守りと管理をひとつの画面で

Securia と同じ管理画面で運用でき、担当者が覚えることを増やしません。

PRODUCT 03 | RECOVERY

YUIA Recovery（リカバリー）— 元に戻す

管理サーバー不要のバックアップサービス。エージェントを導入するだけで、ローカル・クラウド両対応の高速・堅牢なバックアップと、数分での業務復旧を実現します。

管理サーバー不要。ローカル・クラウド両対応

お手元にもクラウドにも保管でき、災害時にも遠隔地のデータから復旧できます。

永久増分・圧縮・暗号化・重複排除で効率化

2回目以降は変更分だけを転送。回線とストレージの負担を抑えます。

ディザスタリカバリで事業継続を確保

クラウド上でシステムを起動し、復旧手順の事前テストも行えます。

改ざん防止でランサムウェアに備える

バックアップデータそのものを保護し、暗号化・改ざんを防ぎます。

RECOVERY | FEATURES

YUIA Recovery — 主な機能と2つのモデル

幅広い環境に対応し、保存先も柔軟に選べます。料金体系は「容量モデル」と「デバイスモデル」の2種類をご用意しています。

柔軟なバックアップ

フルイメージ・ファイル／フォルダ・システム状態など、多様な単位で取得できます。

30以上のプラットフォーム

物理・仮想・クラウド・Microsoft 365 まで、幅広い環境に対応します。

柔軟なストレージ

クラウド・Azure・GCP・ローカルなど、要件に応じて保存先を選べます。

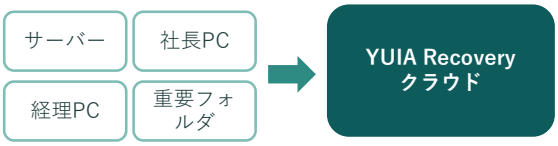
ディザスタリカバリ

クラウド上でシステムを起動でき、テストフェールオーバーにも対応します。

2つの料金モデル

容量モデル

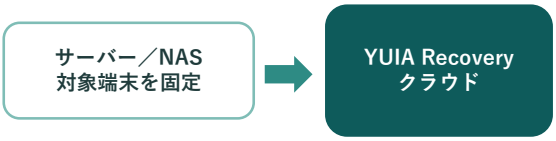
クラウド保存容量（GB）に対する料金



・容量の範囲内で自由に取得可能（端末のOS・台数の見積り不要）
・「クラウド1TB」といった分かりやすい形でご利用いただけます
・台数が増減する環境や、対象を柔軟に見直したい場合に適します

デバイスモデル

対象端末（ワークロード）を固定した料金



・容量あたりの単価が安く、容量の大きい端末の取得に有効です
・サーバー／NASを中心に保護したい場合に適します
・対象OSは Windows・Windows Storage Server のみとなります

クラウド容量とローカル容量は自由に組み合わせてご利用いただけます。

PRICE LIST

価格表｜YUIA Recovery（容量モデル）

クラウド／ローカルの容量別の価格（税別）です。遠隔地保管はクラウド、短時間での復旧はローカルが適しています。

クラウド保存（YUIA RecoveryCloud）

容量	型番	月額	型番	年額
100GB	Recovery-01	2,500円	Recovery-11	30,000円
500GB	Recovery-03	13,000円	Recovery-13	156,000円

ローカル保存（YUIA RecoveryLocal）

容量	型番	月額	型番	年額
100GB	Recovery-06	1,250円	Recovery-16	15,000円

・標準価格はオープン価格です。表中の金額はすべて税別です。年額は月額×12ヶ月分です。
・クラウド容量とローカル容量は自由に組み合わせてご利用いただけます。
・実際のお見積りは、ご契約条件・数量により異なります。

PRICE LIST

価格表｜デバイスモデル・Microsoft 365

デバイス基本料金＋クラウド容量料金の合計でご利用いただけます（税別）。Microsoft 365 のデータは、1ユーザーあたりの料金で保護できます。

デバイス基本料金

区分	型番	月額	型番	年額
サーバー	Recovery-MSV	6,000円	Recovery-YSV	72,000円
パソコン	Recovery-MPC	900円	Recovery-YPC	10,800円

クラウド容量料金（YUIA RecoveryDC）

容量	型番	月額	型番	年額
100GB	Recovery-31	900円	Recovery-36	10,800円

Microsoft 365 バックアップ（1ユーザーあたり）

ユーザー規模	型番	月額	型番	年額
1ユーザー	Recovery-41	550円	Recovery-46	6,600円

・標準価格はオープン価格です。金額はすべて税別、年額は月額×12ヶ月分です。
・契約本数により契約単価が変動します。
・デバイス基本料金とクラウド容量料金の合計が、月々のご利用料金となります。
・Microsoft 365 は Exchange Online・OneDrive・SharePoint・Teams が対象、1ユーザーあたりの価格です。
・実際のお見積りは、ご契約条件・数量により異なります。

EXAMPLE

ご利用イメージ（構成例）

パソコン30台規模の企業様を想定した構成例です。必要な商品だけを組み合わせてご利用いただけます。
金額は税別・月額の参考例です。

ご利用商品	内容	数量・容量	月額（参考）
YUIA Securia EDR	ウイルス対策＋EDRで端末を防御	30ユーザー	12,600円
YUIA Scope	IT資産の棚卸しとパッチ自動適用	30ユーザー	17,400円
YUIA Recovery（容量モデル）	クラウドへのバックアップ	クラウド 500GB	13,000円
合計	守る・管理する・元に戻すを一式	—	43,000円

この構成でできること

攻撃を受ける前に弱点をなくす

Scope が脆弱性を洗い出し、更新プログラムの適用まで自動で行います。

侵入されても被害を広げない

Securia EDR がふるまいを検知し、暗号化されたファイルは自動で元に戻します。

最悪の場合でも業務を止めない

Recovery のクラウドバックアップから、数分〜数時間で業務を再開できます。

運用の窓口はひとつ

3商品を同じ管理画面で運用でき、ご相談窓口も一本化できます。

※ 上記は参考構成例です。実際のお見積りは台数・容量・ご契約条件により異なります。年間プランをご利用の場合は年額料金となります。

SUPPORT & QUALITY

サポートと品質への取り組み

導入して終わりではなく、運用が続く限りご一緒します。設定や増設のご相談から日々の更新まで、継続的に支えます。

導入から運用まで伴走

初期設定・エージェント配布の手順をご案内し、運用開始後の設定変更や増設もご相談いただけます。

継続的なアップデート

最新の脅威に対応する定義・機能の更新はクラウド側で実施。お客様の追加作業は不要です。

安全性の高いクラウド基盤

世界50拠点超のデータセンターで運用される基盤を採用し、可用性とデータの保全性を確保しています。

導入後の定期的なご報告

オプション

検知・防御やバックアップの稼働状況を定期的にご報告し、設定の見直しや増設をご提案します。

COMPLIANCE

SCS評価制度への対応一覧

経済産業省・内閣官房国家サイバー統括室が2026年3月に公表した「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度（SCS評価制度）」の要求領域に対し、YUIA Cyber Protect の3商品がどう応えるかを整理しました。

★3〜 **IT資産の把握・管理** ｜ **YUIA Scope**
資産を自動で棚卸しし、構成情報を一元管理・可視化します。

★3〜 **脆弱性管理・パッチ適用** ｜ **YUIA Scope**
脆弱性を自動スキャンして優先度を付け、パッチ適用を自動化します。

★3〜 **マルウェア対策（防御）** ｜ **YUIA Securia**
AI搭載の次世代ANTIVIRUSによる多層防御と自動ロールバック。

★4〜 **検知・対応（インシデント）** ｜ **YUIA Securia EDR／XDR**
ふるまい検知と横断的な相関分析、調査用フォレンジックの取得。

★4〜 **監視・運用体制の確保** ｜ **YUIA Securia MDR**
専門アナリストが24時間365日で監視・調査・対応を代行します。

★3〜 **バックアップと事業継続** ｜ **YUIA Recovery**
ローカル／クラウド両対応のバックアップで数分での復旧を実現します。

※ 制度開始は2026年度末頃を予定（★5は今後検討）。段階と対策の対応づけは当社整理による目安です。

※ 評価基準の達成に特定製品の導入が必須となるものではありません。

GETTING STARTED

ご導入の流れ・お問い合わせ

標準構成なら、お申し込みから約1週間で運用を開始いただけます。ご要望に応じて、まず1拠点・少数台からの試験導入もご相談ください。

01

ヒアリング

現在のご利用環境と、お困りごとをお伺いします。

02

ご提案・お見積り

最適な商品構成と台数・容量をご提案します。

03

お申し込み・環境準備

管理コンソールをご用意し、初期設定を行います。

04

導入・運用開始

エージェントを配布し、運用を開始。以降も継続的にご支援します。

人と企業を、安心で包む。

YUIA Cyber Protect

ご質問・お見積りのご依頼は、担当者までお気軽にお問い合わせください。

※ 記載の内容・価格は2026年9月時点のもので、予告なく変更となる場合があります。表示価格はすべて税別です。

CONSULTATION SHEET

ご相談前の確認シート

分かる範囲でご記入ください。不明な項目は「不明」にチェックできます。
右ページと合わせて、お打ち合わせにご活用ください。

会社名・部署名

ご記入者

01　ご利用環境

パソコン　　台　　サーバー　　台　　☐ 不明

Microsoft 365　　人　　☐ 利用なし　　☐ 不明

02　現在の対策・更新時期

対策製品・サービス名　　☐ 不明

契約更新の予定　　年　　月　　☐ 未定・不明

03　バックアップ

対象データ量　　GB ／ TB　　☐ 不明

保管先　☐ 社内　☐ クラウド　☐ 未実施　☐ 不明

04　いま困っていること

MEETING NOTES

ご相談・お打ち合わせメモ

相談内容や次回までの確認事項を記録するためのページです。

ご相談日　　年　　月　　日

ご担当者（お客様）　　（弊社）

検討したい商品・オプション

☐ Securia　☐ Scope　☐ Recovery

☐ GenAI Protection　☐ DLP　☐ その他

優先する課題・ご相談内容

次回までの確認事項

確認すること	担当	期限

MEMO

メモ

ご相談内容・ご不明点・お気づきの点などを、自由にご記入ください。

YUIA Cyber Protect

人と企業を、安心で包む。

お問い合わせ先

株式会社モリックスジャパン

〒680-0912　鳥取県鳥取市商栄町203-6

TEL：0857-23-3641　FAX：0857-22-3329

ご質問・お見積りのご依頼は、上記までお気軽にお問い合わせください。

※ 本資料の内容および価格は予告なく変更となる場合があります。表示価格はすべて税別です。